

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 26 年 3 月 24 日作成

事務事業名	樺形中学校給食施設維持管理事業	□ 実施計画事業	所属部局	教育委員会	単位番号	12258
			所属課室	教育総務課	課長名	新津 岳
基本政策	V 個性と文化を育む都市づくり	□ 実施計画事業	所属担当	保健給食担当	担当者名	柴田 肇
政策	23 学校教育の充実		予算科目	会計	名称	款項目細目
施策	37 学校施設の整備充実			01	一般	10 03 01 070 06
事業期間	□ 単年度のみ □ 期間限定複数年度 (~ 年度)		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> その他の事業	
事務事業の概要	事業の内容...期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 学校給食を安心安全に児童に提供する給食施設及び厨房備品の維持管理		法令根拠	学校給食法(学校給食衛生管理基準)		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

①活動	25年度活動実績 ①厨房機器の毎日の清掃安全点検・清掃 ②夏休み等長期休暇時の業者による厨房機器メンテナンス
26年度活動予定	未定
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	厨房機器 給食施設
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	効率よく安心安全な給食が作れる環境になる
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	児童が安心して給食が食べられる環境が整えらるようになる。

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:厨房機器メンテナンス回数	回	
イ:給食実施回数	回	
ウ:		
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:15年以上使用している厨房機器	台	
イ:給食施設の建築年数	年	
ウ:		
⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:施設整備が原因で発生した事故件数	件	
イ:		
ウ:		
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:食中毒発生件数	件	
イ:		

年間トータルコスト	事業費	単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)						
			国庫支出金 千円	県支出金 千円	地方債 千円	その他 千円	一般財源 千円	事業費計 (A) 千円	2,743	2,264	2,327	2,356	2,356	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ業務時間	時間														
	人件費計 (B) (A)+(B)	千円	0	0	0	0	0	0	2,743	2,264	2,327	2,356	2,356	0	0
	活動指標	ア:回 イ:回 ウ:	2.0 180.0	2.0 182.0	2.0 182.0	2.0 182.0	2.0 182.0	2.0 182.0							
	対象指標	ア:台 イ:年 ウ:	4.0 31.0	5.0 32.0	5.0 33.0	5.0 34.0	5.0 35.0	5.0 35.0							
	成果指標	ア:件 イ: ウ:	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
	上位成果指標	ア:件 イ:	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和38年から児童生徒の栄養補給を目的に給食開始している。現在の施設は、昭和55年から稼動している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	施設の老朽化及び、厨房機器の修繕等が多くなってきてている。また衛生管理基準が強化されている。H27年度利用開始の南部給食センターへ統合し、施設の稼動は停止する予定。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	保護者からは、学校給食に対しての安全性や内容に対する関心が高い

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 修繕や厨房機器の故障などは、すぐに業者発注するのではなく、職員で出来るものはして、また他の調理場センターなどと連絡を取りながら不要なものをまわすなどの対応をしている。また給食に異物が混入しないよう気をつけている。
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	H27年度の新学校給食センターの供用開始に向けて既存施設の修繕や備品の購入は極力抑制した。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	榆林中学校給食施設維持管理事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 子供たちに美味しい給食を提供するということは、「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進という施策の観点からは結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 全国的に見ると近年指定管理者制度や、PFIなどによる外部委託の給食が増えているが、新しい制度については今後導入の検討をしかるべき時期に検討するものとし、当面市では栄養職員の責任の下、安心できる食材で給食を提供するものとする。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 調理場での安心安全な環境づくりという意図からすれば、妥当である。
	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 厨房器機等の修繕や故障などで、職員が出来るものは行っている。
有効性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 H27年度利用開始の南部給食センターへ統合予定。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 他の施設から給食を運ぶことが出来ない。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 施設・設備とも老朽化しており、経費の削減は難しい。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の調理員で対応している。削減はむりである。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 給食を調理、提供するうえで必要不可欠であり、見直す必要はない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市の方針として南部給食センターへの統合が決まっており、この事業自体は南部給食センター開始までの事業とする。供用開始はH27年度中を予定しており、それまでは現状維持とする。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																							
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)																							
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)																							
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																							
(2)改革改善案について	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>		コスト水準			削減	維持	増加	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>			下			
	コスト水準																							
	削減	維持	増加																					
向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																						
低下	<input type="checkbox"/>																							
下																								
(4)改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果 平成25年度																							
	成果優先度評価結果 (10)																							
	コスト削減優先度評価結果 (6)																							